

しだみ東学区通信

Shidami East School district Communication News

◆編集・発行
志段味東学区連絡協議会
学区通信編集委員会
名古屋市守山区大字
中志段味字宮前 1175-1
志段味東コミュニティ
センター内
TEL&FAX 052-736-4506

能登震災の被害状況を伝える写真展示も ——区の総合水防訓練に学区住民が参加



梅雨などの本格的な雨の時期を前に、守山区総合水防訓練における災害救助地区本部の避難所開設・運営訓練が5月26日、志段味東小学校で実施され、住民ら約130人が参加しました。

訓練に先だって、災害救助地区本部長の鎌倉安男志段味東学区区政協力委員長は「今回は、あえて能登半島地震に関する写真展や被災者支援に赴いた消防職員からの報告を聞く機会を設けた。今我々にできることは能登半島地震の悲しい経験を教訓とし、この地域の防災に最大限生かしていくことだ。防災意識を高めることが

訓練の目的の一つであり、本日の防災訓練を機に今一度家族で話し合ってもらいたい」とあいさつしました。

訓練では能登半島地震で被災地へ赴いた守山消防所職員による講話や、保健センター職員による避難所体操などを体験した後、三つの班に分かれて、①簡易水防工法訓練、②土のう作成訓練、③被災地避難ブース——を順次見学しました。

また、能登半島地震の被災地や避難所の様子がわかるパネル（写真）が展示され、参加者からは「今なお避難所生活を強いられている住民が多くいると聞く、この先も不安との戦いだ」と

思うが、一日も早い復興を願うばかりだ」と、被災地への思いを語っていました。

この総合水防訓練は、市内全域で一斉に実施されており、地域防災計画に基づき、毎年台風や大雨シーズン前に行っています。

守山区では、矢田川左岸大森橋下流で実施される全学区の消防団を主体とした水防訓練の他、毎年一カ所の学区で実施される地域住民を対象にした避難所設置・運営訓練が行われています。



動画で被災地の報告を受ける参加者



土のうづくりに挑戦する住民

今年度は志段味東学区が避難所設置・運営訓練を担当しましたが、指定避難場所である志段味東小学校は上志段味地区にあるため、実際には上志段味地区の住民も避難対象となります。そのため上志段味学区の皆様にも全面的にご協力いただくことになりました。

※訓練にご参加いただきました住民の皆様、自治会役員の皆様にはあらためて感謝を申し上げます。

訓練のための訓練では！？

訓練の打合せは今年に入って断続的に進められました。どうせやるならより現実的な訓練をとの強い思いを持って職員の方々と対峙するも、実際に能登地震の被災地支援に入った担当職員から「現地の状況は惨憺（さんたん）たるもので何も無いところからスタートしていた。マニュアルも何もなく、物資を配るスタッフはもちろんのこと地域組織も崩壊状態。唯一、被災者の皆さんが仲間として頼っていたのは名前まではわからないがどこかで見たことのある人たちでした。同じ住民であるという安心感、地域住民の絆の大切を改めて実感した」との報告を受け、納得しました。

確かに訓練はマニュアルどおり、一見、訓練のための訓練のようですが、でもそこに参加することで同じ町内に属しているという絆、安心感は間違いなく芽生えます。

訓練の形骸化はよくありませんが、夏祭りなど地域イベント同様、肩ひじを張らず、繰り返し参加することが肝要です。



まちかどインタビュー vol.10

顔の見える関係、交流の場づくりを

今回は、今年4月に新しく赴任されました守山区役所のトップ、小島康裕区長です。前の職場は、子ども青少年局子ども未来企画監という、まさに子どもの未来を考えるお仕事と伺っています。守山区内には子育て世代の人口が急増している地区もあり、子どもの未来、守山区の新たなまちづくりへの期待が寄せられています。そこで新区長の想い、まちづくりへの意気込みをお聞きしました。



小島新区長

Q. あらためて守山区長に赴任される前のお仕事（前任地）を教えてください。

——子ども青少年局子ども未来企画監として、子どもの権利、児童手当やひとり親家庭の福祉、青少年健全育成、トワイライトスクールなどを担当し、特に子どもたちの目線を意識して仕事をしていました。

Q. 人口数では名古屋市内3番目に多い守山区ですが、これまで外から見ていた印象と実際に区行政の責任者となって感じる守山区の印象についてお伺いします。

——志段味地区を中心に人口が増加していること、国の史跡に指定された「志段味古墳群」などの歴史的遺産や、小幡緑地などの豊かな自然に恵まれていることは、印象として持っていました。実際に区長になってみて、守山区は「自然環境に恵まれ、暮らしやすい」とのお声を多くの区民の皆様からお聞きしており、また私自身も落ち着いた暮らしやすいまちだと感じています。

Q. ずばり、守山区をどんなまちにしたいですか。

——今年度策定した「第2期 守山区将来ビジョン」の基本理念に「人と自然の調和する 元気あふれるまち守山」を掲げています。この理念を実現するため、「安心・安全で快適に暮らせるまち」「誰もがいきいきと健やかに暮らせるまち」「魅力と活力にあふれ愛着を感じるまち」の3つを区民の皆様とともに目指していきたいです。

Q. また、区画整理事業等によるまちづくりが進み、とりわけ若い世代の人口が急増している志段味地区の街づくりについてはどのような感想をお持ちでしょうか。

——志段味地区の年少人口（15歳以下）が22.5%という数字は、市内でも突出しており、若い世代を中心に人口が増加して、将来の可能性があると感じています。

Q. 急速に開発（まちづくり）が進むことで新旧住民同士の連携による新たな防犯・防災対策が必要になってきています。自治会組織の在り方も多様化する中、まちづくりにおける行政のかかわり方を教えてください。

——若い方が区民まつりやイベントに参画して活躍できる機会や、まちづくりに携わる楽しさを知るきっかけを作る場を提供し、将来の地域活動の担い手の育成・発掘につなげていくことが必要だと考えています。守山区は、町内会・自治会の加入率は市内でも高い方ですが、これを継

承してつなげていくことが必要ですので、行政として支援をしていきます。

Q. 昨今、自治会や各種団体の役員の成り手不足が懸念されるなど、地域力（組織力）の低下が大きな課題となっています。地方行政を担う行政マンとして、秘策（笑）があればご教示ください。

——秘策とまではいえませんが、ふれあいと交流の場をつくっていくなど、顔の見える関係をつくり仕掛けを継続していくことが重要だと考えます。区では、元気まつり守山の開催をはじめとして、世代間交流を目指したイベントを実施することで、区民相互のふれあいと交流の場づくりをしていきます。

この問題は市全体での課題であるので、どの地域でも悩んでいることだと思います。地域のみなさまと一緒に考えていけたらと思います。

Q. 最後に、小島区長ご自身の趣味、夢を教えてください。

——キャンプに行くことが趣味です。キャンピングトレーラーを使ってキャンプをしていたこともあります。今は、インターネットで映画やドラマを見るのが好きです。

当面の夢として、区長の務めを果たしていきたいと思っています。志段味東学区をはじめ守山区をさらに魅力あるまちとしていくため、守山区のポテンシャルがされに発揮されるための取り組みを進めていきたいです。

ご協力ありがとうございました。

令和6年度 役員決まる

4月27日開催した第1回志段味東学区連絡協議会において、会長はじめとする令和6年度役員を選出、承認しました。新役員体制は右記のとおりです。

令和6年度 志段味東学区連絡協議会会員名簿					
	団体の役職	氏名		団体の役職	氏名
会長	学区連絡協議会会長・区政協力委員長	鎌倉 安男	会員	諏訪 中部自治会長	北野政樹
副会長	中志 中部自治会長・区政協力委員	長松 周司	会員	諏訪 北部自治会・区政協力委員	武藤真樹
副会長 会計	長根吉田洞北部自治会長・区政協力委員	稲垣 一富	会員	長根吉田洞南部自治会長・区政協力委員	川崎 勲子
監事	中志 西部自治会長・区政協力委員	丹羽 吉彦	会員	民生委員児童委員協議会代表	岡本 久子
会員	中志 東部自治会長・区政協力委員	野田 正浩	会員	保健環境委員代表	石川 清好
会員	中志 南部自治会長・区政協力委員	豊永万寿子	会員	消防団代表	松原 雅彦
会員	中志 北部自治会長・区政協力委員	鬼頭美智子	会員	志段味東PTA代表	森 和也
会員	中志 第一自治会長・区政協力委員	佐々木 歩	会員	老人会代表	西川 奉嘉
会員	諏訪南部自治会・区政協力委員	柴田みどり	会員	スポーツ推進委員代表	小林 晴美
会員	諏訪 南部自治会長	吉川 堅信	会員	交通指導員	野田由美子
会員	諏訪 中部自治会・区政協力委員	藤井慶彦	会員	志段味東小学校校長	川口 一

編集後記 家族の安否、被災された方が一番不安に思うことだそうです。災害状況によっては避難場所が異なります。今回の訓練を機に、避難ルートや連絡方法について今一度家族で話し合ってみてはどうでしょうか▼子ども未来企画監、新区長の前職の肩書です。まちづくりは正に子どもの未来への責任を果たすこと。ハード面だけではなく、そこに住む人たちが支えあい連携して次の世代へ夢をつなぐ、新区長に期待大です▼新年度の役員が決まりました。区政協力委員は5人が交代、任期は二年ですが、一年目からフル加速でご参加ください。初めてで分からないからこそ斬新なアイデアが生まれます。旧態依然とした考え方、固定概念にこだわらない新鮮な意見、発言を期待しています。(K)